



立教史上初

全校が学校で過ごしたハーフターム

例年のハーフタームは、ほとんどの生徒がホームステイや英語研修に参加するので、キャンパスは1週間ひっそりと静まり返っているのですが、コロナ禍で全校生徒がキャンパスに残って過ごした今年のハーフタームは立教史上「初」。

キッチンや父母の会の方々と先生方が協力し合い、この特別な1週間は子どもたちが思う存分楽しめる工夫が目白押しでした。そして、連日の晴天―神様までが味方をしてくれて、思い出に残る素敵な1週間になりました。

Contents...

- | | | | |
|-----------------|--------------------|--------------------|----------------------------|
| * Half Term | * Sports Day | * Half Term Events | * Japanese Evening ON LINE |
| * オンライン国際シンポジウム | * ICT記事 | * 気球がやって来た！ | * 負けない機長の翼に乗って |
| * コロナに負けるな！ | * Half Term Photos | * 今年度でご退職される教職員の方 | |

ホグロースト！（豚の丸焼き）



「あつ——い！」
「おいし——い！」

広いキャンパスのあちこちで今日はこの叫び？が何度も何度も響き渡りました。

先週末までの天気が嘘のような快晴で、昼間は温度も急上昇。

底の抜けるような青空を見上げると眩しい日差しに顔をしかめながらも笑顔が止まりません。

中庭の片隅に設けられた特設テントには漁の網や釣り船の浮きをあしらった海の演出？！

そう、今日の昼食はイギリス伝統の味、フィッシュ&チップス・スペシャルバージョンでした。

普段の昼食でも時々出るメニューですが、今日は特別。演出だけではなく、味も絶品！

キッチンから揚げたてが出てくるたびに大歓声で迎ええられるフィッシュもさぞかし幸せだったことでしょう。

そして夕食はホグロースト、豚の丸焼き。朝から海演

出のテントの隣で2メートルもある大きなホグロース

トマシンの中で特大の豚がぐるぐると回っていました。



ハーフターム

今学期のハーフタームは初めての立教で過ごすハーフタームとなりました。このコロナ禍でどうしたら私達が楽しんでハーフタームを過ごせるか、先生方が計画してくださったハーフタームなので、例年のハーフターム以上に充実したものとなりました。学期前半の疲れを取りながら、楽しみながら、勉強に区切りがつけられたいい1週間だったと思います。

特に私がハーフターム中に感じたのは、今の仲間たちとの絆です。ハーフタームが始まった日から終わった日まで、多くのことを今のM3の仲間とともに経験しました。外でピクニックみたいに座って食べたり、水をかけあって遊んだりもしました。

（中学部3年生 女子）

スポーツデイ in Half Term

コロナになってから学校生活は一変し、学校に帰ってきたものの先輩たちとはほとんど会えない日々が続いていました。

そんな中でのsportsdayでした。

競技が始まる前日の夜からクラスの皆でTシャツに色んな事を書いてもらっていた時、コロナ前の立教を思い出しました。前は先輩たちに色んなメッセージを書いてもらったり、ソフトボールの試合でボロ負けして泣いていた時に高3の皆に励ましてもらったり。前夜祭がとても楽しかったことなどなど・・・でもすぐにまた現実に戻されて、明日はそういうsportsdayは出来ないで、少し寂しくなるんじゃないかと。

でも、始まってみたらもうそこはいつもの立教でした。

見る場所も違うし、競技も一緒じゃないし、バブルもあったけど、あの盛り上がりや、あの歓声、代表選手が感じるプレッシャー、すべてを引っ張っていつくれる高3・・・体育館の中だけはいつもの立教のようでした。

先輩にも久しぶりに生で会って少しおしゃべりをして、

「大きくなったねー」とか「声変わりした？」と優しく声をかけられて会話もできました。

多分今の高3がこの立教を去る頃には、コロナも終結していつもの立教に戻ってくるような気がしました。

(中学部 男子)



憧れの先輩と

ハーフトームの後半に行われた、スポーツデイ。初めて先輩方と関わることのできる行事で、とにかく先輩方の凄さに圧巻した一日だった。応援movieから、進行、競技のレベルの高さ、場の静まり方。たった2、3年生まれた時期が違うだけなのに、ここまで違うのかと鳥肌を感じる瞬間が沢山あった。それと同時に後2、3年でここまで自分たちが成長できるのか、、、？。その現実をやりわりと叩きつけられたような感じがした。なにはともあれ、最高な一日だったと思う。

(中学部 女子)

SPORTS DAY

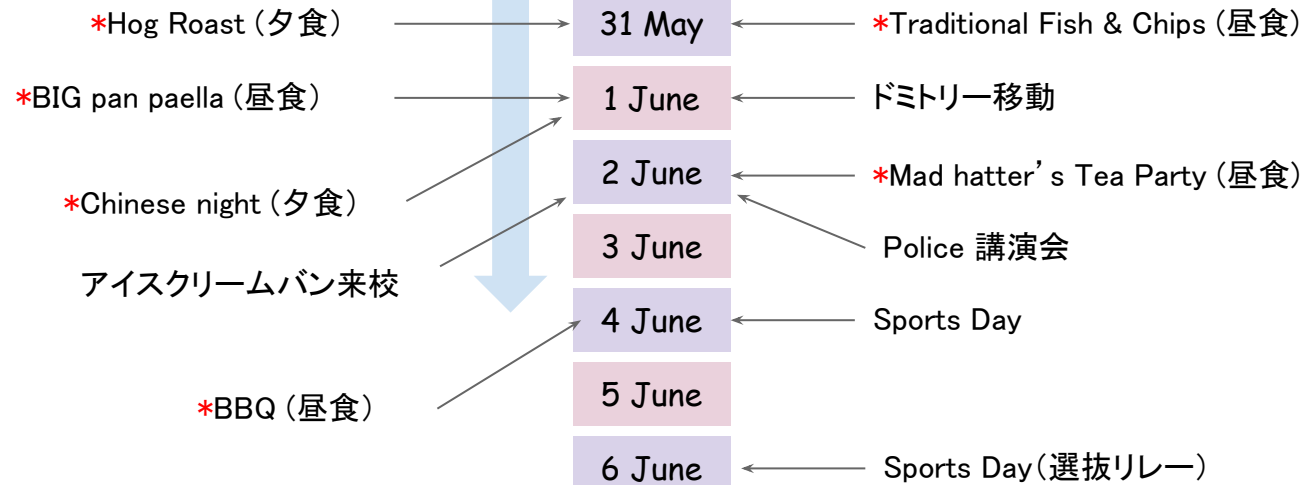


Half Term Events

朝からキッチン脇のコートヤードに置かれた2 m以上もある大きなホグローストマシンの中で特大の豚がぐるぐると回のを眺めたり、厚紙や布を利用して作ったそれぞれのオリジナルハットをかぶってティーパーティーに参加したり・・・このハーフタームのスペシャル・ディナーはそれ自体が大イベント。さらに、暖かい陽気にはぴったりのアイスクリームバンも学校に来て、美味しいソフトクリームを堪能することもできました。そしてもちろん食べていただけではありません。生徒会が主催する立教史上初のオンライン Japanese Eveningの準備やスポーツデイの練習でこの上なく充実した1週間でした。

Japanese Evening 準備

* *special meals*



Japanese Evening ON LINE

<https://sites.google.com/rikkyo.uk/japanese-evening/home>



毎年地元の方々を招いて日本文化を体験して頂いていた Japanese Evening。コロナ禍の逆境を乗り越えて生徒会が作り上げた新しい形です。ハーフターム前半、各クラス・学年で精力的に取り組んだ成果をご覧ください。



(日本語・英語併記)

IC3Dプリンター 使用開始！

パナソニック教育財団から今年度助成を受けている「日・英協働“Robotics” 探究プログラム」の一環として本校に3Dプリンターが3台設置されました。



5月6日(木)の放課後に高校2年生の有志生徒男女23人が自分たちで梱包を解き、調べ、初プリントに成功しました！今後、全学年の児童生徒が思い描いたものを自分で作り出せる環境づくりを進めてまいります。

ロボットクラブ も健在！

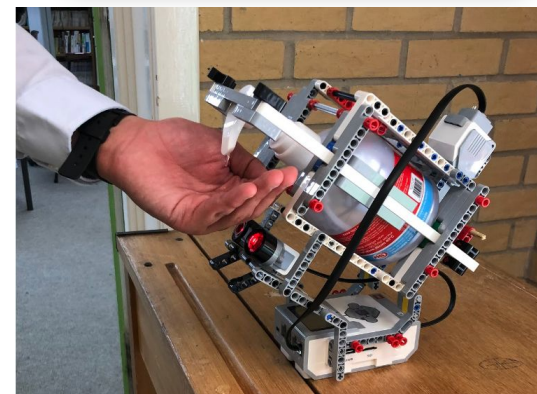
コロナ禍の中で、何か出来ることはないか？
ロボットクラブの面々が考えたのは「**Automatic Hand Sanitiser**」

食堂や教室、職員室や体育館、ホールや寮の中・・・とあらゆるところに設置されている消毒液のボトルを何とか自分たちの手でより「使いやすく、意味のあるもの」に出来ないか？

子供達の発想には驚かされるばかり。

次の作品がまた楽しみです。

[\(詳細はこちらでご覧になれます→\)](#)





風に吹かれるままに中空を駆ける「気球」—
立教のキャンパスにも時折この「気球」がやってきます。
真っ青な空を見上げていたら誰かが遠くで叫びました。
「あっ！気球だ！！」

ゆっくりと流れていく大きなロマン。

キャンパスのあちらこちらから生徒たちが集まって、歓声をあげながら後を追います。

静かな空に鼓動のように低く響くガスバーナーの音が、夕暮れの風景をさらに美しく演出してくれました。

(画像をクリックするとムービーが見られます)

負けない機長の翼に乗って

今学期はやっと立教に行くことができました。昨年の2020年は今、世界で猛威を奮っている新型コロナウイルス感染症拡大のため、1学期と3学期は日本でのオンライン授業ということになってしまいました。けれど今回は、開発されたワクチンが多くの人に接種されて、感染者数が激減したことから、英国に戻って学校生活を送ることができるようになりました。また、久しぶりに友達と話せることができとても嬉しかったです。最初は話しかけることに緊張しましたが、何回か話しているうちにだんだんと緊張がほぐれてきました。そして、新入生の人とも偶然飛行機の席が隣だったことからとても仲良くなりました。新入生の人たちはまだ立教に来たばかりでわからないことが時々あると思うので、いろいろ教えてあげられたらいいなと思っています。

今回の帰寮にあたって、とても感動的だったことは、私達が乗る飛行機の機長さんが1期生の中本洋一さんだったことです。中本機長は「負けない機長」として有名で、サッカー日本代表選手を何度も勝利に導いてきたそうです。そのこともあり、とても安心してフライトを楽しむことができました。その機長さんは今でも時々立教に来ることがあるそうです。先日の入学式で校長先生がお話されたとおり、私も中本さんのように国際社会で活躍できる人になりたいです。

いざ立教に来てみると、まだ中学生という感覚がなく、「小学部の人」と呼ばれても返事をしそうになってしまいます。やっと始まった英国での学校生活を楽しみながら、だんだんと、中学生になったのだなという自覚を持てたら嬉しいです。

(中学部1年生 女子)

気球がやってきた！

決して不幸な時間ではなかったと、心からそう思う

またも1年があったという間に過ぎ、新学期を迎えることになった。
何かの節目の度にこうして文章を起こしてきて気づいたことは、一年を締めくくる春は少ししんみりしてしまう、ということだ。私が春が嫌いな理由はこの点だと思う。

通常よりも学校で過ごした時間が短かったにも関わらず、本当に濃い一年を過ごした。

思えばこの一年の始めは、勉強道具を一式学校に置いてきた絶望と一緒に迎えたのだった。教科書がない、筆箱を忘れてきた、ノートもない、そんな状態だったにも関わらずオンラインに切り替わった学校ではほとんど支障なく勉強ができてしまった。

遠く離れたイギリスと私たちを画面で繋ぎ、大抵の事はオンラインで出来るという事がわかった時、「学校に行く意味」というものを強く考えさせられた。
私が立教英国学院に入学した理由は、イギリスにある変わった学校でしか体験出来ないことを経験したかったからだ。でなければ日本の学校に行っていただろう。

一番楽しみだった遠足やショッピング、学年を超えて楽しめる沢山の行事。今年度は泣く泣く、様々なことを諦めることが多かった。何よりも心苦しかったのは、お世話になった先生に最後会えなかったことだ。
せめて会えていれば、という想いが何度も何度も頭をよぎった。

こんなに寂しい別れ方があるのかと悲しかった。
綺麗事のようにだけれど、辛い別れほど学ぶことや成長することがあるのかもしれないと感じた。起きた出来事、出会い、全てに意味があると思うから。
先生には最後に、何か目標を持って残りの時間を生かしてほしいと言われた。先生の分まで立教生活を楽しまうと思ったし、その言葉で新しい目標を持つことができた。

隔離生活をしながら寮でみんなと過ごしたこと、感染予防をしながらオンライン上で学校行事を実行したこと。これらの思い出は、世界が非常事態に陥った時期でも国境を越えて生き抜いた証だと思う。決して不幸な時間ではなかったと、心からそう思う。

新学期になり新入生もたくさん入り、これまでにないほど新しい風が吹いた。私にとって立教は必要不可欠な場所で、どれだけオンラインに切り替わろうと帰ってくる場所だと信じている。
春の寂しさはまだ少し残るけれど、また暖かい風が吹くことも私は知っているつもりだ。

(中学部3年生 女子)

コロナに負けるな！



コロナに負けるな！

1年2ヶ月ぶりのオルガンの音〈日曜日主日礼拝〉

「あっ！〇〇先輩だ！」

教室の大型インタラクティブボードを見て歓声をあげる生徒達。

今日は日曜日、朝の主日礼拝が始まる前の教室には久しぶりに聞くチャペルのオルガンの音が、インタラクティブボードのスピーカーから流れていました。

オルガン奏者を務めるのは高校3年生の女子生徒2人。最後にこのオルガンの音を聞いたのはもう1年以上も前、2019年度の卒業式の時でした。

その後は、コロナ禍で1学期は自宅にてオンライン学習、2学期は多くの生徒達が戻ってきたもののコロナ対策で様々な活動に制限があり、そして3学期は再びオンライン学習。結局チャペルのこのオルガンが弾かれることはありませんでした。

2021年度はイギリスのコロナ状況もワクチン接種を経て好転。全校生徒が学校に戻り、生活も少しずつですが、平常に戻りつつあります。

とは言え、まだ全校で一斉に集まることは出来ず、毎週日曜の主日礼拝も各クラス、インタラクティブボードを介しての参加。チャペルでの礼拝に直接参加できるのは順番で毎週1バブルのみです。

それでも今日は久しぶりにあの懐かしいオルガンの音を聞くことが出来ました。各教室では歓声があがり、生徒たちの顔も気のせいかなととても幸せそうでした。

礼拝の最後に校長先生が全校生徒とその感動を共有。

「このチャペルにオルガンの音が響いたのは、実に1年2ヶ月ぶり。最後に聞いたのは去年の3月、卒業式の時でしたね。感動で涙が出そうです。早く全校生徒がこのチャペルに集まって、皆んなでまたオルガンに合わせて聖歌を歌える時が来るといいですね。」



🌸🌸 立教の春のメッセージ・ムービー 🌸🌸

生徒の帰寮を待ち望む先生が、立教の春を伝えるメッセージ・ムービーを作成しました。



Big pan paella

Half Term Photos

Rikkyo School
In England

Official
ホームページ

www.rikkyo.co.uk



Tea Party



Tea Party



Bouncy Castle



Sports Day T-shirts



Sports Day



Ice Cream Van



七夕



Ice Cream Van

ご退職された先生

松林 俊貴 先生
(保健体育科)

長い間どうも
ありがとうございました。



Information

ご意見・ご感想はこちらへどうぞ。

▶▶▶ publicrelations@rikkyo.k

第287号 2021年7月10日 発行者 立教英国学院
Rikkyo School in England Guildford Road, Rudgwick, West
Sussex RH12 3BE <https://www.rikkyo.co.uk>